

内閣府
同時発表令和3年9月14日
大臣官房人事課
水管理・国土保全局
海上保安庁

令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！ ～国土交通省関係では、1個人及び15団体が受賞～

令和3年防災功労者内閣総理大臣表彰[※]の受賞者（6個人、38団体）を内閣府において、決定しました。このうち国土交通省関係は、土砂災害防止活動、豪雨災害に対する水防活動、緊急災害対策活動（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）、救助活動に著しい功績があったとして、1個人及び15団体が表彰されることになりました。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

国土交通省関係の受賞者（1個人及び15団体）

（1）土砂災害防止活動関係・・・1個人及び1団体

[防災思想の普及]

- ・ 一般財団法人総合初等教育研究所・参与
きた としお
北 俊夫 <埼玉県>
- ・ 河内地区自主防災会連合会 <広島県>

（2）水防活動関係・・・10団体

[災害現場での顕著な防災活動]

（令和2年7月豪雨）

- ・ おおいしまち
大石田町消防団 <山形県>
- ・ しんじょうし
新庄市消防団 <山形県>
- ・ いいだし
飯田市消防団 <長野県>
- ・ げろし
下呂市消防団 <岐阜県>
- ・ あしきたまち
芦北町消防団 <熊本県>

- ・ ^{さがらむら}相良村消防団 <熊本県>
- ・ ^{くまむら}球磨村消防団 <熊本県>
- ・ ^{ひとよし}人吉市消防団 <熊本県>
- ・ ^{やつしろ}八代市消防団 <熊本県>
- ・ ^{いさし}伊佐市消防団 <鹿児島県>

(3) 緊急災害対策活動関係(TEC-FORCE による被災自治体支援活動)・・・3 団体

[災害現場での顕著な防災活動]

(令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号)

- ・ 国土交通省 緊急災害対策派遣隊
- ・ 内閣府沖縄総合事務局 緊急災害対策派遣隊
- ・ 国立研究開発法人土木研究所 緊急災害対策派遣隊

(4) 豪雨災害救助活動関係・・・1 団体

[災害現場での顕著な防災活動]

(令和2年7月豪雨)

- ・ 第十管区九州大雨災害対策本部

【問い合わせ先】

<全般>

国土交通省 大臣官房人事課 代表 03-5253-8111

栄典第一係 廣瀬、山口 (内線 21226, 21227)

栄典第二係 大塚、村山 (内線 21216, 21217)

直通 03-5253-8169, Fax03-5253-1520

<受賞者関係((1)～(3))>

国土交通省 水管理・国土保全局 代表 03-5253-8111

(1) 土砂災害防止活動関係

砂防部砂防計画課 菊池、野口 (内線 36122, 36165)

直通 03-5253-8466, Fax03-5253-1610

(2) 水防活動関係

河川環境課水防企画室 佐野、大瀧 (内線 35452, 35455)

直通 03-5253-8460, Fax03-5253-1603

(3) 緊急災害対策活動関係(TEC-FORCE 関係)

防災課災害対策室 小林、和田 (内線 35822, 35824)

直通 03-5253-8461, Fax03-5253-1608

<受賞者関係((4) 豪雨災害救助活動関係)>

海上保安庁 総務部 代表 03-3591-6361

人事課 下 (内線 2502)

直通 03-3593-4550 (Fax 兼用)

功 績 概 要

(1) 土砂災害防止活動関係

個人 [防災思想の普及]

氏 名	きた としお 北 俊夫
職 業	一般財団法人総合初等教育研究所 参与
功績の概要	<p>学校教育において、土砂災害防止教育を特別な教育として扱うのではなく、社会科や理科など普段の教科指導の中で確かな知識を身に付け、防災意識の向上を図ることの重要性を終始一貫して指摘するなど、土砂災害防止に関する防災教育の推進と発展に多大な業績をあげてきた。</p> <p>平成20年改訂の学習指導要領に基づく解説の作成に当たって、小学5年の学習内容として土砂災害に関する理解が深まるよう注力した。これを受け、平成23年度から使用された小学5年生用教科書では編集代表者として、土砂災害に関する基礎的知識をはじめ、実際の土砂災害や砂防ダム、ハザードマップ等の写真や前触れについてのイラストを掲載し解説するなど、これまでにない内容構成の教科書を作成し、児童への土砂災害に関する知識の普及における大きなターニングポイントとなった。</p> <p>さらに、氏の尽力もあり、平成29年改訂の学習指導要領では土砂災害に関する指導内容が小学4年に拡充された。</p> <p>長年にわたり土砂災害防止に資する防災教育の普及に果たした氏の貢献は、非常に大きなものとなっている。</p>

団体 [防災思想の普及]

名 称	河内地区自主防災会連合会
所在地	広島県広島市佐伯区
代表者	杉田 精司
功績の概要	<p>平成11年6月29日に発生した豪雨災害について、この災害の経験と教訓を踏まえ、災害の記憶を残すとともに、地域における防災意識の向上を図るため、地域に密着し、自主的な防災活動を継続して行っている。</p> <p>「6.29豪雨災害」を風化させることなく、後世に伝承し、地域住民の土砂災害防止意識を醸成するため、毎年、追悼式と防災講演会を併せて「忘れまい6.29集会」として、平成11年から毎年、計22回を開催し、毎年150名程度が参加している。</p> <p>令和2年3月には、「6.29豪雨災害」をしっかりと記憶に留めるため、当時、地域住民が撮影した写真や動画、地域住民や学校の教諭、消防団員等の体験談を収録したDVD「6.29豪雨災害の記録」を制作した。</p> <p>地域住民の早期避難に繋がるよう、河内地区情報メールの導入や雨量計の設置、「避難行動タイムライン」の策定等に取り組むとともに、当該団体が中心となり民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会を始めとする災害時の避難支援関係団体・機関が相互に連携を図るため、他地区に先駆けて「河内地区防災ネットワーク」を立ち上げる等、様々な活動を行ってきた。</p> <p>地域独自の幅広い活動を推進しており、地域住民の土砂災害防止思想の普及に尽力している。</p>

(2) 水防活動関係

団体 [災害時の防災活動]

(令和2年7月豪雨)

名 称	大石田町消防団
所在地	山形県北村山郡大石田町
代表者	団長 早坂 和義
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、3日間にわたり、延べ708名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり水防活動にあたった。 内水氾濫を防ぐため、災害協定に基づき委託した地元建設者とともに水中ポンプを合計9台設置し、水中ポンプや消防ポンプを使った内水排水作業を行った。また、月の輪工等の水防工法により漏水等による被害を未然に防いだ。 この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	新庄市消防団
所在地	山形県新庄市
代表者	団長 浅井 一男
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ201名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり排水活動と河川巡視を行った。 また、避難が済んでいない住民に対して戸別に訪問を行い、住民の避難誘導を行った。その結果一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	飯田市消防団
所在地	長野県飯田市
代表者	団長 坂巻 剛弘
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ733名の体制で、新型コロナウイルス感染症への対応を考慮しつつ、長期間の対応が可能となるよう時間交代制のシフトを組み、水防活動、災害処理活動、二次災害防止活動等を行い、計11日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	下呂市消防団
所在地	岐阜県下呂市
代表者	団長 無笹 聡
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、河川の氾濫等の災害に対し、土のう積みによる民家への浸水防止、住民の避難誘導等に、延べ1,826名が出動し、降り続く豪雨による、土石流の発生や道路崩壊という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	芦北町消防団
所在地	熊本県葦北郡芦北町
代表者	団長 松崎 政司
功績の概要	令和2年7月豪雨に際し、延べ2,079名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計80日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	相良村消防団
所在地	熊本県球磨郡相良村
代表者	団長 田山 時徳
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、10日間にわたり、延べ634名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、土のう積み及び消防団小型ポンプによる内水の排水活動により浸水被害を未然に防ぐ活動を行った。</p> <p>この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害発生を出さなかった功績は多大である。</p> <p>また、被災後も、浸水した家屋の泥出し作業や田畑等の冠水処理、道路等の復旧作業、排土清掃作業を行った。</p>

名 称	球磨村消防団
所在地	熊本県球磨郡球磨村
代表者	団長 松野 三千夫
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ871名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、自衛隊活動の支援、救助への補助、支援物資搬送、道路啓開等を行い、計26日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	人吉市消防団
所在地	熊本県人吉市
代表者	団長 赤池 栄祐
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ920名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計21日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	八代市消防団
所在地	熊本県八代市
代表者	団長 山本 一樹
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、延べ1,936名の体制で、被害の中心である特に困難な状況下で、昼夜にわたり水防活動、避難活動、救助活動等のほか、土砂災害現場での応急対応（土砂撤去・土のう積み）を行い、計72日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	伊佐市消防団
所在地	鹿児島県伊佐市
代表者	団長 蓑田 慎一
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、7日間にわたり、延べ726名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、河川敷近隣住宅の浸水を土嚢積みにより未然に防いだり、用水路越水による住宅浸水を小型ポンプでの排水により防いだ。</p> <p>この他、住民の避難誘導、避難補助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

(3) 緊急災害対策活動関係

団体 [災害時の防災活動]

(令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号)

名 称	国土交通省緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区
代表者	隊長 安部 宏紀
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、令和2年7月3日から8月31日の約2ヶ月にわたり、全国からのべ10,435名が出動し、排水ポンプ車による緊急排水により病院や住宅孤立等を早期に解消するとともに、自治体所管施設の被災状況調査を実施し、被害の全容把握、二次被害の防止、激甚災害指定の見込み公表の早期化等に貢献した。土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援、路面清掃車による粉塵除去等を実施するなど、被災地の復旧・復興に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>また、令和2年台風第10号による災害に際し、台風が特別警報級の勢力で接近する中活動を開始した。活動終了までの約3週間にわたり、全国からのべ1,138名が出動し、被害リスクが大きな地方自治体におけるリエゾン活動や、排水ポンプ車の前進配備を行うとともに、被災状況の把握、二次災害防止のための技術的助言等を実施した。</p>

名 称	内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊
所在地	沖縄県那覇市
代表者	隊長 伊佐 真幸
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ147名の体制で、自治体所管施設（市道・村道）の被災状況調査の実施による、激甚災害指定の見込み公表の早期化など、計27日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

名 称	国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所在地	茨城県つくば市
代表者	上席研究員 浅井 健一
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨及び令和2年台風第10号に際し、延べ32名の体制で、橋梁被災箇所、排水機場被災箇所、道路被災箇所、土砂災害発生個所に係る高度な技術指導を実施し、二次被害の防止や被災地の早期復旧に貢献するなど、計16日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

(4) 豪雨災害救助活動関係

団体 [災害時の防災活動]

(令和2年7月豪雨)

名 称	第十管区九州大雨災害対策本部
所在地	鹿児島県鹿児島市
代表者	第十管区海上保安本部長 羽山 登志哉
功績の概要	<p>令和2年7月豪雨に際し、回転翼航空機に特殊救難隊及び機動救難士を同乗させ現地に派遣し、孤立者の吊り上げ及び避難者の救助を実施するとともに、船艇を利用した給水支援、漂流危険物の回収及び航行警報の発出等多岐にわたる活動を実施したことは、早期の孤立者救助や被災者の支援に繋がった。</p> <p>巡視船艇延べ94隻、航空機延べ49機等の体制で、航空機による22名の救助、給水支援、漂流危険物の回収、航行警報の発出等を行い、計60日間の活動期間で被害の軽減に多大な貢献をした。</p>